

授業科目名	物理療法学		授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	落合 慶之、平塚 将嗣、水谷 貴佐		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>理学療法士の治療手段の1つである物理的エネルギーの人体に及ぼす生理学的影響を理解し、効果、適応、禁忌を学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理療法の対象となる病態について説明できる。 ・各種障害に対して、各種の物理的エネルギーがどのように作用し、治療効果を発揮するかが説明できる。 ・各種物理療法機器の適応疾患と禁忌を挙げることが出来る。 					
授業回数	授業内容					
第 1 回	物理療法総論（物理療法の歴史・分類）					〔平塚〕
第 2 回	PBL 物理療法の対象となる病態①炎症 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P24～37を読み込む					〔落合〕
第 3 回	PBL 物理療法の対象となる病態②痛み 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P24～37を読み込む					〔落合〕
第 4 回	温熱療法の基礎、表在性温熱療法					〔平塚〕
第 5 回	深部性温熱療法					〔平塚〕
第 6 回	超音波療法					〔平塚〕
第 7 回	寒冷療法					〔平塚〕
第 8 回	電気刺激療法 演習：S-D曲線の測定 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P207を読み込む					〔落合〕
第 9 回	電気刺激療法 総論：定義・分類・パラメータ設定・適応・禁忌 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P200～216を読み込む					〔落合〕
第 10 回	電気刺激療法 演習：経皮的末梢神経電気刺激（TENS） 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P217～224を読み込む					〔落合〕
第 11 回	電気刺激療法 TENS総論：目的・機序・電極配置 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P217～224を読み込む					〔落合〕
第 12 回	電気刺激療法 演習：神経筋電気刺激（NMES） 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P235～243を読み込む					〔落合〕
第 13 回	電気刺激療法 NMES総論：目的・適応・機序 予習：教科書「エビデンスから身につける物理療法」P235～243を読み込む					〔落合〕
第 14 回	牽引療法・CPM・マッサージ療法					〔平塚〕
第 15 回	水治療法					〔水谷〕
評価方法	小テスト（50%）、期末試験（50%）により評価する。					
教科書 参考図書	〔教科書〕 エビデンスから身につける物理療法（羊土社）					
	〔参考図書〕 物理療法学（医学書院）					
履修上の 留意点	機器を用いた治療手段であり、リスクを伴うので、生理学的機序・適応・禁忌・手技を確実に覚えてください。					
メッセージ	物理的エネルギーを適切に活用することで、理学療法の効果を高めることができます。使えるようになりましょう。					